

## 第5回地域審議会会議録

(敷島地区)

### 1. 日時

平成20年3月27日(木)

19:00～20:45

### 2. 場所

甲斐市敷島庁舎 2階会議室C

### 3. 会議次第

- (1) 開会
- (2) 会長あいさつ
- (3) 部長あいさつ
- (4) 審議事項
  - 1) 平成19年度主要事業等の執行経過報告
  - 2) 平成20年度主要事業等について
  - 3) その他
- (5) 閉会

### 4. 出欠席者

- (1) 出席委員[9名] ※委員名簿は別紙
- (2) 欠席委員[1名] 羽中田委員
- (3) 事務局  
伊藤企画部長、小澤企画課長  
企画課総合政策担当・有泉リーダー、石合、宮川

### 5. 審議事項議録

- 1) 平成19年度主要事業等の執行経過報告
- 2) 平成20年度主要事業等について

[会長]

審議事項の(1)、(2)は関連があるため、事務局より一括説明願いたい。よろしいか。

(異議なし)

[事務局]

(資料を用いて説明)

[会長]

何かご意見があればお願いしたい。

[委員]

地区の避難場所の公民館や防災用倉庫等について、耐震はどうなっているのか。  
市の立場として考え方をお聞きしたい。

[企画部長]

指定避難場所と第一避難場所がある。第一避難場所は一番に集まるところで、指定避難場所は学校、体育館など。学校等について、大規模は金額がかかるが、耐震だけであれば少ない予算で出来る。耐震は先にということで進めているのでご理解を願う。

[会長]

ハザードマップ策定についても話したが、吉沢、睦沢地区、一本の生活道路が寸断されると大変だ。生活道路がもう一本あればよいと思う。

[委員]

竜王駅の南北通路の温度管理はどうなっているのか。

[企画部長]

クーラーは特にない。空調に関しても設計に入っていると思う。担当課には確認する。

[委員]

指定管理について、将来的な計画はどうなっているのか。

[企画部長]

指定管理の候補は上がっている。検討委員会等をつくっている。市民のサービスが低下せず、よくなるように、また経費が少なくなるようにやっていく。

[委員]

プール等、運営委員会のような審議的な組織がない場合はどうするのか。

[企画部長]

運営委員会等とは別組織の指定管理に移行するのがいいのかどうかの検討委員会があつて、選定委員会、検証委員会がある。運営委員会等の組織がある場合は、担当課で意見を吸い上げて検討委員会へ出してもらおう。

[委員]

社協の理事会協議会があつた。地区によっては防災に対し盛り上がっていない。社協と市の防災課の連携はあるのか。

[企画部長]

社協から市のほうに話してもらったほうがよい。防災安全課のほうには話しておくが、地域でそれぞれの活動があり、それを盛り上げてほしい。啓発については、区長会等で話していきたい。

[会長]

人命救助が第一で、大きい地区では、どの家に何人住んで、救護しなくてはいけないお年寄りが何人いるのか掌握できない。区長会でもそんな話がある。

[委員]

自主防災組織の数はどのくらい立ち上げ活動しているのか。

単独に訓練をした時にできる補助金はどれくらいか。

敷島地区の民生委員では、この4月に調査し、各地区で防災マップを作ろうとしている。

[企画部長]

補助金については、防災安全課に確認する。

個人情報の保護をしなくてはならないため、行政で名簿やマップを作るのは難しい。

[会長]

自主訓練と9月1日の防災訓練も含めて一回補助が出ると思う。

[企画部長]

(資料によると) 最高限度額は10万円となっている。

[委員]

消火器等はどうか。

[企画部長]

それはまた別になる。

[委員]

詳細は防災安全課に確認する。

[委員]

防災について地域に温度差がある。地域に意識を持たせるように、啓蒙を社協と市と一緒に取り組むのが必要でないかと思う。

[企画部長]

民生委員が弱者を守るために地域の把握を行い、それを自主防災に役立てるというのは理想の形である。民生委員活動の良い事例をもとに、地域から盛り上げていただきたいと思う。

[会長]

民生委員と区で連携していけたらいいと思う。

[委員]

地区が自発的にやること一番だ。消防について、当時は婦人消防隊という熱意あるところも

あった。人命救助のため、建物の点検はどうなっているのか。

[企画部長]

建築基準法改正前の、昭和 56 年以前の建物についての耐震診断、改修について補助を出している。ただし、個人住宅のため強制的に調査するのは無理である。アスベストについても補助金を出している。

[委員]

商工会を通じて無料診断等の話しもあるが、行政の取り組み状況を聞いた。

[会長]

耐震診断については広報にも載っていた。アスベストについては、みんなどんなものか知らない人が多い。

[企画部長]

一般家庭、特に木造では、アスベストの使用は少ないと思う。

[委員]

商工会で話しができたが、新しい竜王駅は、南アルプス市の玄関口ともなる。南アルプス市との連携という話しはあるのか。

[企画部長]

新しく竜王駅ができ、観光施策として広域的な視野で進めていきたいとは思っている。企画には話しはないが、商工観光課にきているかどうかは分からない。調査しました報告する。

[委員]

ぜひとも、登山口等がある南アルプス市との連携をお願いしたい。両市ともにプラスになるようにしていただきたい。

[会長]

その他何かご意見は。

[委員]

一朝有事の時、食糧や飲料水の備蓄はどうなっているのか。

[企画部長]

計画的に整備は進めている。2日で応援物資は届くと言われているが、それまでの2日間をどうするかという視点からも水の確保は重要で、防災計画のなかでも整備し予算も確保していく。

[会長]

東京の食糧庁倉庫をみてきたが、東京都民の一か月分ほどの米が備蓄されていた。志麻の里公園が整備されるとある程度食糧を備蓄できるし、ヘリが発着できるようになる。

[企画部長]

災害協定をスーパーのアマノと結んだ。コカコーラとも飲料水の関係で協定を結んでいる。

3) その他

[会長]

その他何かご意見は。

[委員]

街灯、カーブミラーの件だが、交差点のカーブミラーが急に倒れたことがあり、だいぶ腐食していたようだ。大事には至らなかったが危険である。調査はしているのか。

[企画部長]

計画的に調査していると思うが、確認し報告する。

[会長]

その件については、昨年各自治体を通じて調査をしたが、素人だと本当に腐食しているのかどうかは分からない。地元もカーブミラーを要望しているので自分達の責任もあるが、専門的に調べる方法を考えてほしい。

[委員]

学校給食費を免除してもらっている家庭はどのくらいあるのか。外車に乗っているのに、給食費を払っていない家があるようだ。予算構成上、他の家庭でその分を負担することにならないか。

[企画部長]

準要保護世帯といい、学校の家庭訪問、民生委員の調査、それから5人の教育委員の判定で決定する。その分は国の制度で公費として賄うので、他の家庭が負担するというわけではない。

[委員]

取扱いが不平等にならないか懸念される。

市は、給食費を全額公費でという改革でもよい。

[企画部長]

本来払うことができる世帯について、市としては、行革の集中改革プランで収納対策本部を設けて取り組んでいる。

[委員]

権利は主張し、義務は免除してもらおうという人がいる。厳しく対処してもらわないと秩序が保たれない。

[企画部長]

保育料、給食費は法律で差し押さえできないが、担当職員も努力している。

[委員]

本当に困っている家もあるので、給食費を無料にしてもよいのではとも思う。

[企画部長]

親は責任をもって子を扶養する義務があり、親として子供に何かをすることも必要だ。

[会長]

モラルの問題だと思う。

[委員]

心配ごと相談に来た若い母親の話したが、保育園の未納問題で、保証人をといることを言われたそうだ。しっかり払っているのに、こんなことをさせるのかと意見を言いたかったようだ。